

新年のご挨拶

本物のオーディオ（音楽）文化で心豊かな社会再生を！

社団法人 日本オーディオ協会
会長 校條 亮治

みなさま、明けましておめでとうございます。

昨年は本当に激動の年でした。一昨年からの世界同時不況の波で国内経済も大きな打撃を被り、巷の雇用情勢もついに失業率は5.7%を記録し、未だ5%台のままです。

そして夏の衆議院選挙では民主党政権が発足し、「コンクリートから人へ」のスローガンの下、大きく政策転換がされようとしています。まさに、平成の大維新の感がします。

しかし、私は一方で時期到来といえるのではないかとも思います。経済発展は重要であり、国のあり方や私たちの生活そのものですが、一歩間違えたり、行き過ぎると逆に私たちの生活を脅かしたり、粗雑にする懸念があります。今こそ日本、若しくは日本人のアイデンティティーを再認識する必要があるのではないかと思います。

我田引水で恐縮ですがこんな時こそ、人の心に定着した文化が大切だと思います。技術進化は大変重要ですが利便性やコストダウンだけではなく、追求すべき本質を忘れてはいけないのではないのでしょうか。それは心を揺らす「感動」だと思います。

日本オーディオ協会は「豊かなオーディオ文化を広め、楽しさと人間性にあふれた社会を創造する」というビジョンの下、まさに「感動文化」を創出し、感性豊かな社会を取り戻したいと考えています。

テレビも薄型・大画面になりましたが、今少し音を良くすればもっと感動ある画面になります。ヘッドフォンステレオも屋内では、今少しオープンスピーカーで空気振動を受けて頂ければ感動ある音楽シーンが広がるはずです。

日本オーディオ協会は、今年から新たに「新生・日本オーディオ協会」として(1)デジタルホームシアター普及委員会、(2)第三世代オーディオ普及委員会、(3)生録文化普及委員会、(4)ソフト普及委員会、(5)展示会等推進委員会、(6)サラウンドサウンドWGなどを基本に、新たな「感動文化」創出に向け、力強く活動してまいります。今年も旧年以上のご理解とご支援をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。